

# 再始動 CUIC はプロシージャ データサービス住んでいます

## 目次

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ライブ データサービス 再始動手順](#)

## 概要

この資料は CUIC ルートまたは CUIC Command Line Interface ( CLI ) からの Cisco Unified Intellignet センター ( CUIC ) ライブ データサービスを再開するために推薦されるステップを記述したものです。

ライブ データサービスは特定の順序で再開する必要があります従ってそのデータおよびステータス依存は、クリーンアップされます。

CUIC 11.0

ライブ データ サーバ 11.0

## 要件

この資料にリストされているシナリオ、現象およびステップは completintg 初期セットアップの後で問題を解決するために書かれていました。初期設定に関しては、資料の下で参照して下さい:

[データ インストールは住んでいます](#)

## 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は CUIC 11.0 およびライブ データ サーバ 11.0 に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークがライブである場合、コマンドの実行の潜在的影響を理解するようにして下さい。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

# データサービス 再始動手順は住んでいます

CUIC ライブ データサービスを再開する 3 つの方法があります。

## 1. CUIC ルートからの SH スクリプトによる再始動ライブ データサービス

```
/opt/cisco/livedata/bin/reset_tempesta.sh
```

このスクリプトは停止し、特定の順序のライブ データサービスを開始したり、また残り動物園の飼育係および嵐状態データ クリアします。

## 2. CUIC ルートからリセット スクリプトを実行して下さい

```
/opt/cisco/livedata/bin/control_services.sh
```

このスクリプトは 1 つの引数を奪取します ( 開始するか停止 )。引数によって意味されるように、サービスを停止し、次にサービスを開始して下さい。

**control\_services.sh 停止**は特定の順序のすべてにライブ データサービスを停止します

**control\_services.sh 開始**するは特定の順序のすべてにライブ データサービスを開始します

## 3.停止すれば開始するライブ データサービスは以下の順で utils サービス停止の実行によってする必要があり、utils は CUIC admin CLI から start コマンドを保守します:

以下の順のサービスの下で停止して下さい

- CCE はサービス データ嵐 DRPC 住んでいます
- CCE はサービス データ嵐スーパーバイザ住んでいます
- CCE はサービス データ嵐 Nimbus 住んでいます
- CCE はサービス データ ActiveMQ 住んでいます
- CCE はサービス データ Cassandra 住んでいます
- CCE はサービス データ動物園の飼育係住んでいます
- CCE は Web サービス データ住んでいます

以下の順のサービスの下で開始して下さい

- CCE はサービス データ動物園の飼育係住んでいます
- CCE はサービス データ Cassandra 住んでいます
- CCE はサービス データ ActiveMQ 住んでいます
- CCE はサービス データ嵐 Nimbus 住んでいます
- CCE はサービス データ嵐スーパーバイザ住んでいます
- CCE はサービス データ嵐 DRPC 住んでいます
- CCE は Web サービス データ住んでいます